



木工用ボンド

もっこうようぼんど



概要

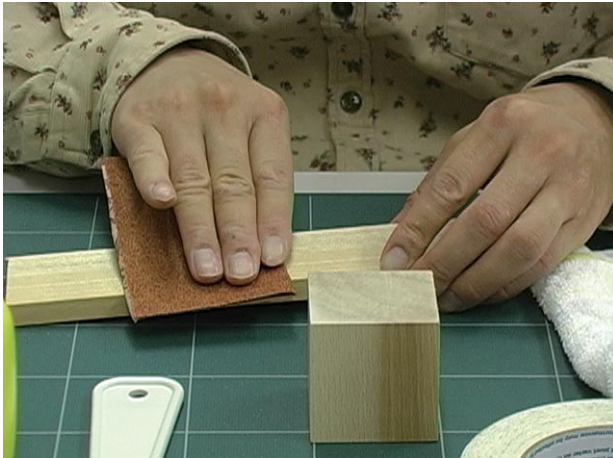
木工用ボンドは、酢酸ビニル樹脂を成分とする、水性系接着剤です。接着剤に含まれている水分が、木材に吸収もしくは蒸発することで固化します。用途は主に、木・紙・布です。プラスチックやゴムには使いません。水性で扱いやすいため、日曜大工や手芸、木製模型など幅広く使用されています。使用前は白色ですが、乾燥して固まると透明に近い状態になります。

使い方は通常、接着する片面に塗った後、貼り合わせ圧着します。固化するまで、テープで留めたり、重みのあるものを乗せたりしておくとい良いでしょう。数時間から半日である程度固くなりますが、その接着物を動かしたり使ったりするには、24時間以上経過してからが良いでしょう。広面積の紙や布を接着する場合は、水で薄めて、刷毛（はけ）などで塗って使うこともできます。作業の途中、接着面からはみ出してしまったボンドは、ぬれた布で拭きとればきれいになります。接着剤が硬化後、種類によっては接着剤が硬くなるタイプもあります。接着後に加工や仕上げをする場合は、接着剤が硬くなっていますから、接着物を削りすぎたり、刃物をいためたりしないように注意が必要です。

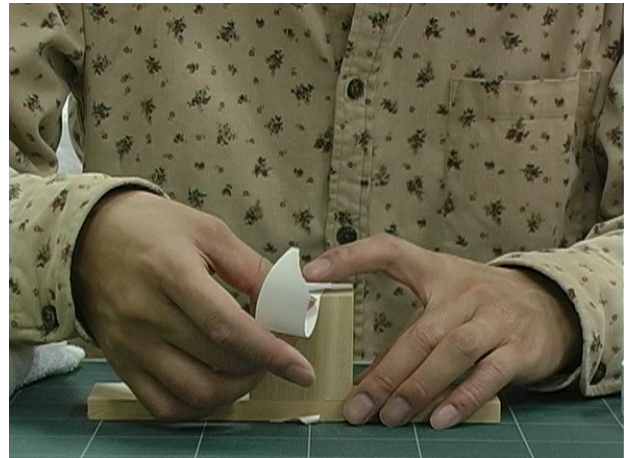
製品の種類は、「木工用」と記載されているものの他に、固まるまでの時間が約半分の「速乾」や、容器の口が細口ノズルになっていて、細かい作業に使いやすいものがあります。大きさは、片手で握れるサイズ（50g）のものから、学校やグループ作業向き（5kg）のものまであります。使用中、あやまって皮膚に付いてしまった時はすぐに拭きとり、セッケンと水でよく洗います。取り扱い上の注意は商品パッケージに記載されているので、よく読んでから使用しましょう。木工用ボンドは、文具店やDIY ショップ、ホームセンターなどで購入できます。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A
B
C
D
E
F
G
H
I
J
K
L
M
N
O
P
Q
R
S
T
U
V
W
X
Y
Z
数字

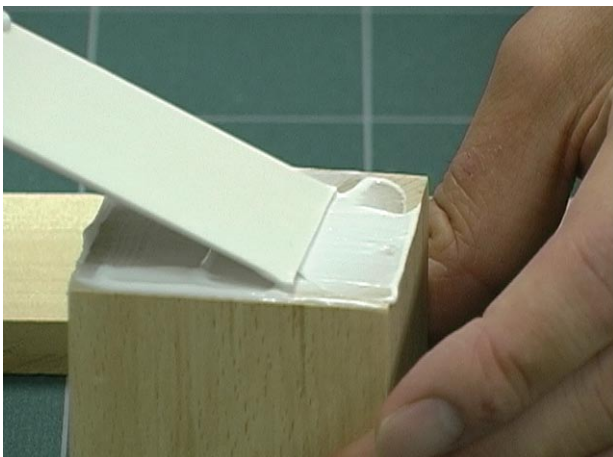
使用例 1 木材を接着する



手順1. 接着面にやすりをかけた後、汚れなどを取り除きます。



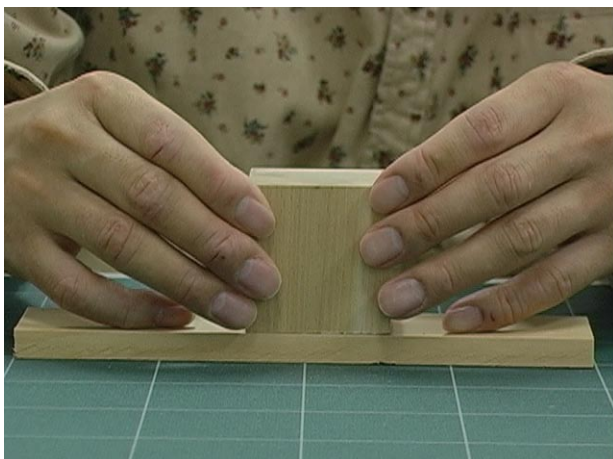
手順4. テープなどで固定し、24時間以上置きます。



手順2. 接着面にボンドをのせ、ヘラで均一にのばします。



手順5. テープをはずし、完成です。



手順3. 接着物を貼り合わせ、押さえます。

使用例2 広面積の布を接着する



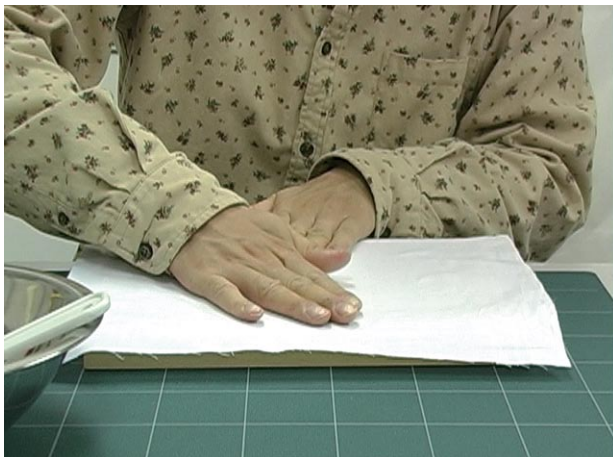
手順1. ボンドを適量の水で溶きます。



手順1. 乾燥したら完成です。



手順2. 土台となる側に、刷毛で端から塗っていきます。



手順3. 塗り終わったら、空気を閉じ込めないように、中心から押さえて貼ります。